

目標達成計画

作成日: 令和2年12月4日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	19	現在、面会が自粛・制限されている状況の為、施設での暮らしが把握しづらい事から、ご家族様の不安な気持ちが大きくなっているのではないかと思われる。	ご家族様が、施設での暮らしやご利用者様のご様子を知ることができ、安心することができる。	・安心、安全な面会を行う。・面会時に、ご利用者様のご様子を言葉だけではなく、写真や画像などで発信する。・手紙や電話を活用する。・ご利用者様の健康管理に十分努める。	12ヶ月
2	40	誤嚥のリスクが高く、食事介助が必要なご利用者様が増えた為、職員が食事時の介助や見守りの重要性・緊張・怖さなどにより、本来のグループホームの大切な役割、特徴でもあるはずの、職員も一緒に楽しむ食卓、団欒を楽しむことが、できていない。	食事中や食後の団欒をご利用者様も職員も楽しむことができる。	・食事介助について。誤嚥についての研修を行う。・利用者様ひとりひとり、その人に合わせた食事の時間、食事の場所を考え、提供する。・食事介助に必要な職員の時間配分を、3階4階の職員が連携して考える。・グループホーム、疑似家族の役割を常に考える。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。